

# タイ・ピピ島の 子どもたちの心を 絵本にしました。

2004年12月26日 インド洋大津波…  
ピピ島の子どもたちは「津波」を背に必死に  
逃げました。山の上目指し振り返る事なく  
泣きながら走った子ども。はぐれてしまった  
両親や兄弟を捜し、人に尋ね歩く子ども。  
あの日の「出来事」を45人の、子どもたちが  
一枚の「絵」と「作文」に書きました。  
ピピ島を「愛する心」とともに…。



報道では決して伝わらなかった、子どもたちの「声」が聞こえてくる絵本です。



小学4年生の女の子が描いた「津波」の一枚の絵  
(絵の中の言葉)「波だ」「走れ走れ」



その日、私は家において、ラジオのパトン放送を聞いていました。ラジオでパトン(プーケットの街)が鬼の波に壊されたと聞きました。ニュースを聞いて、私は走ってお父さんのところに行きました。(中略)お父さんは私に走るように言いました。私はおばに、走って私についてくるように言いました。だけど…おばといとは逃げられませんでした。そしてその時私は、お父さんが死んでしまったと思いました。私はビューポイント(山)の上で泣きました。私は知り合い全員にお父さんを見たか聞きました。(中略)私は「弟が死んだ」と言いました。1分後、私はお父さんが走ってくるのが見えました。私はお父さんに抱きついて泣きました。(中略)次の日の朝、みんなで船に乗りました。船が出るときピピ島から離れたくないと私は泣きました。(中略)

<http://www.childrenofphipi.com>で45人の子どもたちの絵を見ることが出来ます。

タイ・ピピ島の  
子どもたちに支援  
をお願いします。

絵本「みんなのピピ島」をご購入いただくと…。

この絵本を皆さんにご購入いただくと、絵本製作でかかった経費を除いた利益は全て、2004年12月26日の津波により被害に遭ったピピ島学校の子どもたちと、その家族の生活支援に使われます。ピピ島学校は、小・中学生が通っていましたが、再開の目途もたっておりません。子どもたちも、いまだピピ島を離れ避難先での生活をしています。どうぞ、皆様のあたたかいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

私が責任を持って皆様のあたたかい支援の  
お金と心をピピ島の子どもたちに届けます。

みなさまのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。  
2004年3月からピピ島にてダイビングインストラクターをして  
いました。インド洋大津波の時はちょうどダイビング中で私も奇  
跡的に助かりました。その後日本に帰国せず、日本で私の実家  
がある島根の両親・友人達が募金を募り、集まったお金で託児所  
の建設・食料・衣類・文房具の配付など、ピピ島復興の為にボラ  
ンティアを行っていました。私の現地の友人達(ボランティア仲間)  
が今年4月に英語訳付きのこの絵本をタイで出版しました。日本  
の人達にも、子どもたちの気持ちを知ってもらい、この災害を  
忘れないでほしいと思いい日本語版を製作し絵本を持って2005  
年9月帰国しました。

日本語版編集 中川俊介



●お問い合わせ・絵本のご購入の場合は…

TEL FAX 0855-72-1158 携帯電話(10月中旬ごろまで) 090-6539-6496  
Mail phi-phi@hotmail.co.jp 中川俊介宛

●郵便振替口座でも販売しております。

口座記号：01380-6 口座番号：64954  
加入者名：ピピ島の子どもと俊介の会  
振込金額：1,200円(税込)+送料290円=1,490円  
振り込み手数料が別途かかりますがご了承ください。振込み確認後、本を発送いたします。